

三菱商事クリーンエナジー株式会社

滋賀県米原市 23.0MW メガソーラーへの出資参画

2024年5月15日

三菱商事クリーンエナジー株式会社（代表取締役社長：藤井隆男、以下、三菱商事クリーンエナジー）は、ヴィーナ・エナジー（本社：シンガポール）が滋賀県米原市にて建設中の米原太陽光発電所（設備容量 31.6MW、送電端 23.0MW）に関して、出資参画することについて合意致しました。

本事業は再生可能エネルギー（以下、再エネ）を長期間、安定的に顧客・需要家に供給するコーポレート PPA（電力販売契約）の仕組みを利用するものです。今後も環境価値の高い再エネ由来の電力供給の拡大をはじめとする多様な脱炭素化ソリューションの開発・提供を通じ、カーボンニュートラル社会の早期実現を目指してまいります。

三菱商事クリーンエナジーとは

三菱商事グループで日本国内の発電事業を統括する三菱商事エナジーソリューションズ株式会社の 100%子会社である三菱商事クリーンエナジーは、洋上風力を除く再エネ発電事業を計画から建設・運営まで一気通貫で展開しています。再エネの普及や需要地に近い場所で発電・供給を行う分散電源化といった流れを踏まえ、デジタル技術も活用しつつ、再エネを中心とする発電事業に取り組んでいます。

三菱商事グループの持つ、電力需給管理や小売り機能および地域ネットワークを活用し、EX/DX 一体推進で再エネの「つくる」×「整える」×「届ける」に取り組んでいきます。

ヴィーナ・エナジーとは

ヴィーナ・エナジーは、「アジア太平洋地域におけるエネルギー転換の加速」をミッションに掲げ、持続可能で低価格な再エネ発電事業の推進と、事業地域の経済的及び社会的発展、また環境保全を目指しています。

ヴィーナ・エナジーは、合計出力 45 ギガワットを超える開発・建設・稼働中の太陽光発電所、風力発電所（陸上／洋上）、エネルギー貯蔵システム（定置型および可搬型貯蔵）資産を有しています。シンガポール本社のほか日本、韓国、台湾、タイ、インド、オーストラリア、インドネシア、フィリピンに 86 拠点、従業員約 964 名を有します（2023年12月31日現在）

ヴィーナ・エナジーの日本法人であるヴィーナ・エナジー・ジャパン株式会社は、本社（東京都港区）および 17 拠点の国内事業所を有しています。国内においては、太陽光発電事業は日本再生可能エネルギー株式会社、陸上風力発電事業は日本風力エネルギー株式会社、洋上風力発電事業はヴィーナ・エナジー洋上風力株式会社、発電所の運営管理は NRE オペレーションズ株式会社、建設工事請負等の施工管理はヴィーナ・エナジー・エンジニアリング株式会社が行っています。